

第6学年3組 体育科学習指導案

平成26年10月29日（水）5校時

場所 体育館

指導者 教諭 小寺 正洋

1 単元名 「表現」

2 単元の目標

○運動に進んで取り組み、互いの良さを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 [関心・意欲・態度]

○自分やグループの課題解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫することができるようにする。 [思考・判断]

○いろいろな題材から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なまとまりの表現で踊ることができるようにする。 [技能]

3 評価規準

（1）内容のまとまりごとの評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、互いの良さを認め合い助け合って、練習や発表をしようとしたり、運動する場の安全に気を配ろうとしたりしている。	・自分やグループの課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	・表現やフォークダンスについて、表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けている。

（2）単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り、友達と助け合って練習や発表、交流をしようとしている。 ・運動をする場の安全を保持することに気を配ろうとしている。	・課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、構成を変えたりしている。 ・自分やグループの良さを知るとともに、練習や発表会、交流会で自分やグループの良さを生かす動きを身に付けている。	・いろいろな題材から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。

（3）学習活動に即した評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・イメージを積極的に動きにしようしたり、友達と気持ちを合わせて楽しく踊ったりしようとしている。 ・友達と励まし合ったり、アドバイス	・動きのイメージを持つことができる。 ・表したい感じを協調する動きを選んだり、構成を工夫したりすることがで	・表したい感じに合わせて、全身を使って動くことができる。 ・動きに変化と起伏を付けて、ひとまとまりの動きに関して踊ること

し合ったりして、練習や発表、交流をしようとしている。 ・場の安全を確かめて運動しようとしている。	きる。 ・アドバイスや友達の動きを手がかりに、より良い動きを考えることができる。	ができる。 ・群を生かした動きを工夫して表現することができる。
---	---	------------------------------------

4 指導に当たって

(1) 児童観

① 体育学習や運動への興味・関心等

男子児童 18 人、女子児童 13 人、計 31 人の学級である。校内で独自に行ったアンケートでは、「運動が大好き」または「好き」と答えた児童が 26 人、「嫌い」または「大嫌い」と答えた児童が 5 人であった。休み時間は、学級の半数以上が外でドッジボールやバレーボール、どろけいなどの鬼遊びをして遊んでいる。榴岡小学校では、運動会の表現種目として、低学年では「すずめ踊り」、中学年では「エイサー（七月エイサー・仲順）」、高学年では「ソーラン踊り（南中ソーラン）」に取り組むのが伝統となっている。また、4 年生の頃には、地域の方々との交流の中で「ジェンカ」を、5 年生の野外活動では、「マイムマイム」を踊るなど、フォークダンス系の表現活動を多く体験している児童たちである。また、休み時間や放課後には、ピアノを弾いたり、その周りで歌を歌ったりする女子児童の姿や、電子オルガンのビート音に合わせて体を動かして遊ぶ男子児童の姿が見られることもあり、音楽が好きな児童が多い。その一方で、“自由に体を動かす”“体で何かを表現する”という創造的な表現活動の経験が少ない児童がほとんどである。

② 本单元における児童の実態調査

表現運動に関するアンケートの結果から、表現運動が「好き」と答えた児童が 8 人（男 3、女 5）。「どちらでもない」が 24 人（男 15、女 9）。「きらい」が 0 人であることが分かった。「好き」の理由としては、「音楽に乗って体を動かすのが楽しい(4 人)」が最も多く、次いで「みんなと体を動かすことが楽しい(2 人)」、「上手にできるとうれしい(1 人)」、「友達の動きを見るのが楽しい(1 人)」と続いた。一方、「どちらでもない」の主な理由は、「好きでもきらいでもない (11 人)」、「運動は好き、表現はきらい (10 人)」というものだった。これは、前述の創造的な表現活動の経験が少ないことによる、表現活動に対する興味関心の希薄さや抵抗感の大きさが大きく影響していると考えられる。

(2) 単元観

① 一般的特性

- ・自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没頭してなりきっていることが楽しい運動である。
- ・互いの良さを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- ・身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現するのが楽しい運動である。
- ・友達と気持ちや動きに合わせて体を動かすことが楽しい運動である。

② 児童から見た特性

- ・体を動かすことが苦手でも、達成感を味わうことができる運動である。
- ・即興的に動くことが難しく、なりきって動くことが苦手な児童にとっては、楽しさを味わうことが難しい運動である。
- ・友達と協力して作品をつくりあげる楽しさを味わうことができる運動である。

(3) 指導観

① 指導者の願い

- ・本単元を通じて、互いの良さを認め合う力を高めたい。
- ・友達と関わり合う楽しさ、共に創り上げる喜びを感じさせたい。
- ・「表現の学習は、人とのコミュニケーションを豊かにするものである」など児童が表現学習の必要性を感じながら学習が進められるようにしたい。

② 研究との関連

平成 26 年度仙台市教育研究会体育部会研究主題は、「自ら学び、運動の楽しさや喜びを味わえる体育学習を求めて～学習過程の工夫を通して～」である。これを受けて、第 5 地区では、目指す児童像を以下のように設定した。

【5 地区が目指す児童】

表現運動系及びダンスの指導において、身体を動かすことを通して、運動することの楽しさや喜びを十分に味わい、心から運動が好きになる児童

表現運動系およびダンスは心と身体をより一体としてとらえることが重要である。目的に応じて身体を動かすこと、また、友達とコミュニケーションをとること、協力して一つの作品を作ることは児童にとって楽しいことである。このことを表現運動系およびダンスの指導を通して、十分に味わわせ、進んで身体を動かしたい、運動することが楽しいと思えるような児童の育成を目指す。

③ 具体的な手立て

目指す児童像にせまるための視点とその具体的な手立ては、以下の通りである。

視点	A 関わり合いを意識させた学習過程の工夫	B 動きの変化を引き出す言葉掛けの工夫	C 児童が見通しを持って活動できる学習カードの工夫
手立て	・一単位時間の学習過程を、「やってみる」「創る」「見る」とパターン化することで、児童同士の関わり合い方を明確にする。	・表現のポイントを「動き方・止まり方・速さ・大きさ・リズム・郡の動き」といった観点に分け、更に観点毎のキーワードを提示し、言葉かけに生かす。	・表現活動で大切にしたい観点をレーダーチャートに示し、児童が常に意識できるようにする。 ・メモ欄を設けることで褒め方や励ましの言葉を集めさせ、関わり合いに生かせるようにする。

5 単元の指導計画（第 5 学年 6 時間扱い 第 6 学年 6 時間扱い 本時 第 6 学年 3 / 6 時間）

第 5 学年 6 時間扱い			
時	本時の目標	主な学習活動	評価規準
第 1 次 音楽に合わせて表現しよう（1 時間）			
1	○音楽に合わせて体を動かす楽しさを味わう。 「音楽に合わせて体を動かそう」	○様々なジャンルの音楽を知り、リズムをとりながら、体を動かす。	【関心・意欲・態度】リズムに合わせて進んで体を動かしたり、友達の良い動きを認めたりできる。 [児童の動き・学習カード]
第 2 次 表現を広げよう（4 時間）			
1	○日常生活の動きや身近にあるものの動きを体で表現す	○イメージカードの動きを考えながら、ひと流れの動きで表現す	【思考・判断】具体物の動きをよく見たり、思い出したりして、その特徴を捉え、動きを

	る。	る。	工夫しようとしている。 [児童の言動]
1	○激しい感じや急変する感じなどの変化を取り入れて、物事の動きを始め・中・終わりの流れの動きを考える。	○リズムの変化を感じながら、体の使い方や動きの速さを変えて表現する。	【思考・判断】音楽の特徴を捉え、メリハリをつけながら表現を工夫している。 [児童の言動]
1	○テーマに合わせて、自分のイメージを体で表現し、友達に伝える。	○ペアやグループで互いのイメージを見合い、真似したり体でしたりする。	【技能】自分のイメージを、体の表現を使って友達に伝えることができる。[児童の動き]
1	○テーマに合わせて、ペアやグループで表現する。	○友達の動きの良いところをグループの動きに取り入れてみんなで表現する。	【思考・判断】集団美を意識してグループ全体の動きを考えることができる。 [児童の言動]
第3次 ストーリーを表現しよう（1時間）			
1	○ひと流れの動きでストーリーを表現する。	○自分たちで考えたストーリーをひと流れの動きで表現する。	【技能】いろいろな題材から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なまとまりの表現で踊ることができる。 [児童の動き]

第6学年			
第1次 音楽に乗って表現しよう（1時間）			
1	○音楽に乗って体を動かす楽しさを味わう。 「音楽にのって動こう」	○友達と関わり合いながら、様々なジャンルの音楽に合わせて体を動かす。	【関心・意欲・態度】音楽に合わせて進んで体を動かしたり、友達の良い動きを認めたりできる。 [児童の動き・学習カード]
第2次 表現を広げよう（4時間）			
1	○話に合わせて、即興的に体を動かす。 「聞いて・すぐに・動こう」	○日本昔話に合わせて、即興的に体を動かす。	【思考・判断】話を聞いて、情景や登場人物の動きをイメージし、即興的に体を動かすことができる。 [児童の言動]
1	○動きの変化や起伏のある動きを意識して動き方を考える。（本時） 「『速さ』『大きさ』『リズム』を変えよう」	○動きの「速さ」「大きさ」「リズム」を変えることを意識してストーリーを考え、即興的に動く。	【思考・判断】動きの「速さ・大きさ・リズム」の変化を意識して、ストーリーを考えたり、実際に動いたりすることができている。 [児童の言動]
1	○迫力ある群の動きを意識して動き方を考える。 「『群の動き』で迫力を出そう」	○動きの組み合わせや繰り返しを意識して動き方を考え、表現する。	【思考・判断】動きの組み合わせや繰り返しを意識して動きを考え、表現することができる。 [児童の言動]
第3次 小学校6年間を表現しよう（1時間）			
1	○テーマに合わせて、ストーリーを考え、表現の練習をする。 「ぼくらの思い出、表現アルバム」	○行事を通して感じた気持ちを体で表現し、ひと流れの動き（ストーリー）を創る。	【技能】気持ちを体で表現し、これまで学んだことを生かしながら、簡単なひとまとまりの作品を創ることができる。 [児童の動き]
1	○表現発表会を行う。 「表現アルバム発表会」	○「榴岡小学校の思い出」をテーマに創ったストーリーを、グループ毎に発表する。	【技能】これまで学んだことを生かしながら、即興的な動きや簡単なまとまりの動きで表現することができる。

6 本時の指導（本時3／6時間）

（1）本時のねらい

動きの変化や起伏のある動きを意識して、ストーリーを考えたり、実際に動いたりすることができる。

（2）学習過程

段階	学習活動	主な教師の発問（○）と児童の反応（・）	指導上の留意点と評価
導入 (5分)	1 教師の話に合わせて、一人で「やってみる」。 ・『一寸法師』	○今から話すお話に合わせて、体を動かしてみよう。 （『一寸法師』の話を読む） ・え? ゆっくり回り出してだんだん速く?!。 ・だんだん固まるんだって。 ・ロボットダンスをしていたら急にしびれる?!	○相談はさせず、即興的に体を動かすように指示する。 ○大げさに動くことを意識させる。 ○合図までは動き続けさせる。止まってしまった場合は、そこまでの動きを繰り返させる（リピート再生）。
展開 (35分)	2 本時のめあてを確認する。 3 「はじめ」「中」「おわり」の動きを考える。 4 6人グループで作品を「創る」。 ①考えた話に合わせて、即興的に動いてみる。 ②変化や起伏が大きいストーリーを話し合い、動き方を練習する。 5 友達のグループの表現を「観る」。	○今日のめあてを確認しよう。 「速さ」「大きさ」「リズム」を変えよう。 ・動きの速さ・大きさ・リズムを変える動きを考えるんだな。 ・「だんだん」「急に」「大きく」「速く」などの言葉がキーワードなんだな。 ○動きの速さ・大きさ・リズムが変わるような動きを考えて、ワークシートの（ ）の中に書いてみよう。より変化が大きくなるようなストーリーを考えよう。 ・「ゆっくり」動いた後に、「急に」を入れてみよう。 ・「ロボットダンス」は動きが面白いから入れたいな。 ・「ランニングマン」が得意だから入れよう。 ○6人グループになって、今考えた話に動きを付けてみよう。話を考えた人が読み手。それ以外の人が即興で動くよ。 ・△△さんのストーリーは、変化が大きくて面白いな。 ・□□さんの考えた「○○○」はどう動こうかな。 ○グループで話し合って、「速さ」「大きさ」「リズム」の変化が大きかったストーリーを選ぼう。選んだグループは、動く練習をしてみよう。 ・動きの変化が大きかったから、△△さんのストーリーにしよう。 ・「○○○」のところは、こう動いた方が良いかも。 ・◇◇さんの動きが良かったから、取り入れてみよう。 ○では、友達のグループの作品を見てみよう。 ・△グループは、「だんだん」や「急に」をうまく使っているな。 ・□□さんの動きが、変化が大きくていいな。	○前時や導入（学習活動1）の活動を振り返り、「速さ」「大きさ」「リズム」を変えるキーワードを考えさせる。 ○ホワイトボードにキーワードを貼っておき、動きが考えられない児童にはキーワードを組み合わせるストーリーを創るように助言する。 ○動きやすそうなストーリーを考えている児童のグループを抽出して、モデルとし、活動の流れを共通理解させてから、グループ活動させる。 ○いい動きをしている児童を取り上げ、共有する場面を設ける。 【思考・判断】動きの「速さ・大きさ・リズム」の変化を意識して、ストーリーを考えたり、実際に動いたりすることができる。 [児童の言動] ○各グループの良いところを褒める。 ○準備や戻るときも演技であることを意識させる。

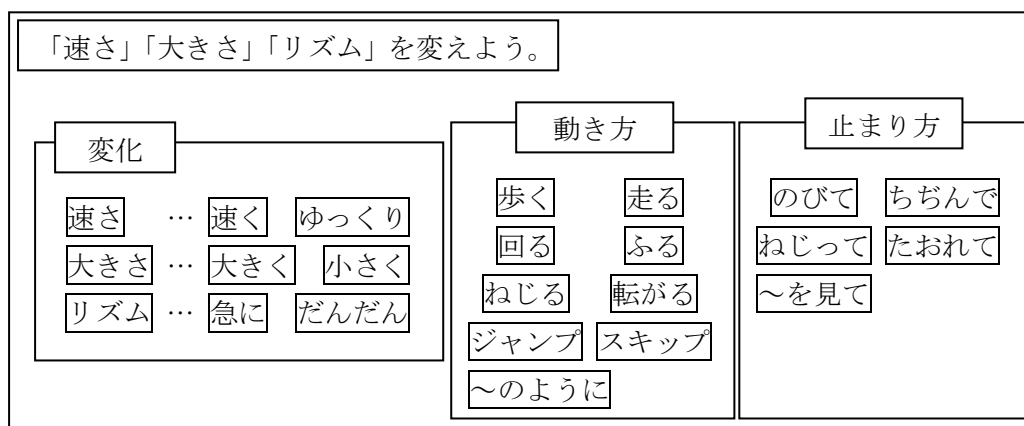
		・◇グループは、チームワークがいいな。	
まとめ (5分)	6 本時の学習を振り返る。	○振り返りカードを書いて、今日の学習を振り返ろう。 ・動きの速さや大きさを変えられた。 ・△△グループの～の動きが良かった。 ・もっといろいろな表現ができるようになりたい。	○よく書けている児童に意図的指名をし、発表させる。

(3) 評価

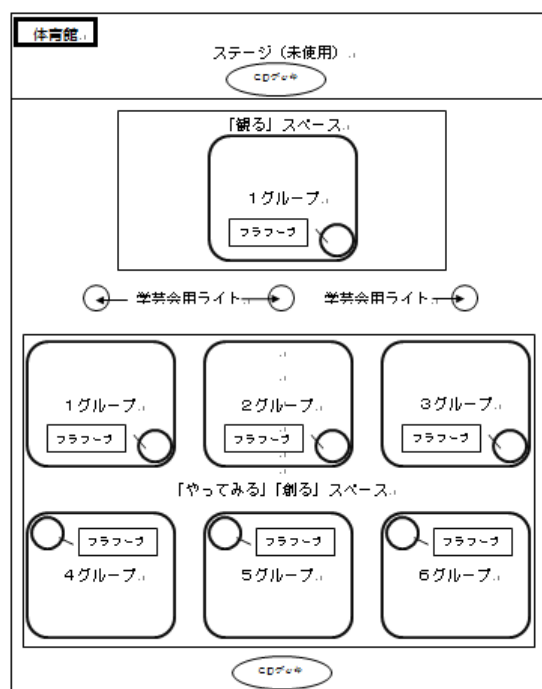
動きの「速さ・大きさ・リズム」の変化を意識して、ストーリーを考えたり、実際に動いたりすることができるか。

本時の評価規準	Aと判断される児童の状況	Cと判断される児童への支援
「ゆっくり」「大きく」「急に」などの言葉を効果的に取り入れて、動きの速さ・大きさ・リズムを変えて体を動かすことができる。	速い動きで体の切れを意識したり、遅い動きで柔軟性を生かしたりするなど、動きに変化や起伏を出すための工夫をすることができる。	教師や友達の動きを真似させる。また、板書の「変化」のキーワードと「動き方」のキーワードを組み合わせ、動きを考えるように助言する。

(4) 板書計画



(5) 場説



『一寸法師①』

一寸法師が、お椀の船に乗って、都へと向かいます。お椀の船が揺れます。

＜はじめ＞やじろべえのように左右に・・・。

＜中＞だんだん揺れが大きくなって、右、右、右・・・、左、左、左・・・。

＜終わり＞急に揺れが収まると、突然、洗濯機のようにぐるぐる・・・。

そして最後に・・・、ばんざーい！都に着きましたとき。

『一寸法師②』

打ち出の小槌をふるうと、一寸法師が、

＜はじめ＞ゆっくり回り出して、だんだん速く・・・。

＜中＞だんだん固まってきて、スローモーションのように・・・。

＜終わり＞ロボットダンスをし始めたと思ったら、急にしびれて・・・。

そして最後に・・・、ドカーン！立派な青年になりましたとき。

『桃太郎①』（ペアで）

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。

＜はじめ＞おじいさんは・・・，

目にも止まらぬ速さでおばあさんを馬跳びしながら芝刈りに・・・。

＜中＞おばあさんは・・・，

はいはいをして、おじいさんの股の下をくぐって川へ洗濯に・・・。

＜終わり＞おじいさんとおばあさんは・・・，

手をつないで大きな桃を抱え、ぐるぐるぐるぐる・・・。

そして最後に・・・，シャキーン！桃太郎が生まれましたとき。

『桃太郎②』（ペアで）

桃太郎が鬼ヶ島へ向かっていると・・・。

＜はじめ＞2匹の犬がやってきました。

しっぽをふりふり・・・，もっと速く！もっと！3倍速！10倍速！

＜中＞次に、ゴリラがやってきました。

急に戦い始めます。・・・突然スローモーションに！超スロー！

＜終わり＞最後になぜか2匹のふなっしーがやってきました。

ふなっしーは、お互いに梨汁ぶしゃー！とかけます。ひたすらかけます。

ピタッと止まって！・・・またかけます！

そして最後に・・・，二人で仲良くポーズ！こうして、仲間が増えましたとき。

「速さ」「大きさ」「リズム」を変えよう

6年 組 番 ()

☆「速さ」「大きさ」「リズム」が変わる話を考えよう。

『一寸法師』

打ち出^うのこ^こづちをふる^でうと、^{いっすんぼうし}一寸法師が、

<はじめ>

< 中 >

<終わり>

そして最後に・・・,

立派な青年になりましたとさ。

♪チャンチャン♪